

厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
分担研究報告書

脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究
研究分担者 (富永悌二・東北大学・脳神経外科・教授)

研究要旨:宮城県におけるPSCcore2施設の過去3年間における脳卒中患者動態を調査し、2020年はCovid-19パンデミックの影響を受けたものの、2021年には影響をほぼ脱した。PSCcore施設への認定による効果は更に長期の観察が必要である。

A

. 研究目的

宮城県におけるPSC(Primary Stroke Center)core2施設の経年症例数より、Covid-19感染影響下の動態を探る

B. 研究方法

宮城県におけるPSCcoreである2施設が2019年～2021年に経験した脳卒中症例数を調査する(日本脳卒中学会に年次報告済)

(倫理面への配慮)

特に問題なし

C. 研究結果

PSCcore施設	A			B		
	2019	2020	2021	2019	2020	2021
年						
rt-PA	5	5	10	69	85	106
血栓回収	19	12	15	72	71	86
脳梗塞(発症7日以内)	58	60	60	620	589	732
脳出血(発症7日以内)	39	55	50	153	152	211
くも膜下出血(発症7日以内)	28	16	15	103	102	122
その他の脳卒中(発症7日以内)	5	9	0	81	17	63
一過性脳虚血発作	3	3	3	59	58	41
無症候性脳血管病変	9	7	19	112	171	91

2019年から2021年における症例数の変化は上記表のとおりである。

D. 考察

Covid-19パンデミックの影響が顕著な2020年には両施設とも急性期脳梗塞症例が減少したが、脳出血は影響を受けず、2021年には症例数は2019年同様に復したか、むしろ増加した。増加の原因は、

他PSCがCovid-19患者に対応しているためかもしれない。一方PSCcore認定の効果も否定できないが、今後も長期の推移を観察する必要がある。

E. 結論

過去3年間で、宮城県のPSCcore施設においては、2020年が最もCovid-19パンデミックの影響を受けたが、2021年には回復した。

F. 健康危険情報

記載不要

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む)

1. 特許取得
なし

2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし